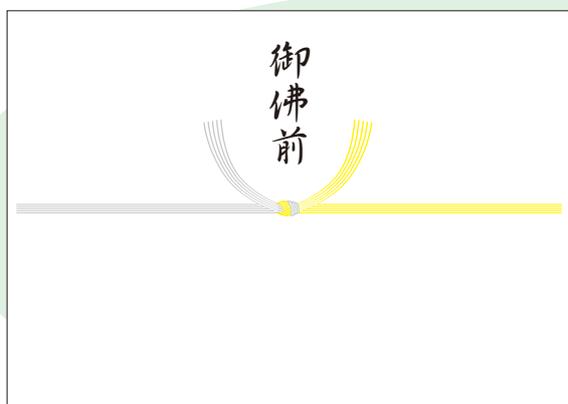


黄水引(黄白水引)について

■ 水引の結びと色

向って**右側が「黄色」、左側が「銀・白色」**の五本又は七本の水引が印刷され、中央の結び目は「結切り」と称される丸結びになっています。

(※本来は向って左側は白色ですが、印刷では白色が出ないことから銀色に変えて製品化されています。熨斗は印刷されていません。)



●のし紙



●のし袋

●金封



■ 水引の使用地域と用途

関西地区で用いられていたものですが「黄水引」を用いる地域が増加しています。

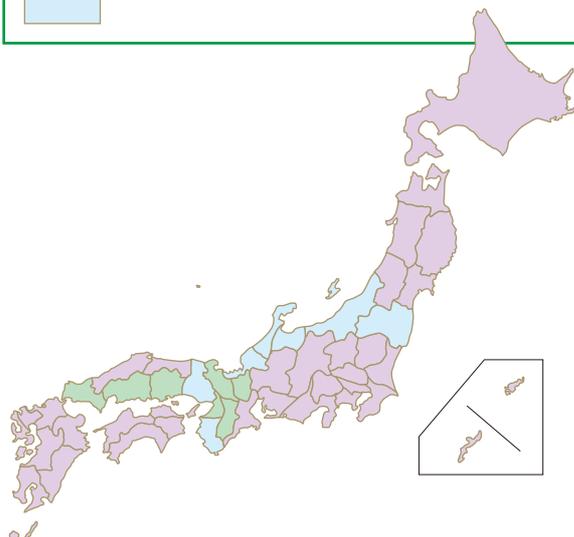
本来は**関西の大阪・京都・神戸・奈良の都市部**に限り、各宗教共通に通夜・葬儀告別式・法要時の際に、喪家に対して贈る弔慰品や喪家よりの香奠返しの粗品に用いられていたものですが、現在では「佛水引」の蓮絵なしと同様に、法要時に「佛水引」では喪の意味合いが強過ぎるとの理由で、「黄水引」を用いる地区が増加してきています。

■ひとくちMEMO

仏教以外の神道やキリスト教の通夜・葬儀告別式・法要時の際には、「仏」のイメージが強い「佛水引」は避けて、「黄水引」を用いる方が適切です。

使い分け 全国マップ

- 葬儀時・法養時ともに
黒白水引・黄白水引は金封を用いる地域
- 葬儀時は蓮水引・黒白水引
法養時は黄水引・黄白水引を用いる地域
- 使い分けが混在する地域



※地域ごとの古くからの風習や宗教・宗派独自の決まりなどによって上記と異なる場合があります。